

土浦駅北地区再開発事業に伴う美術品展示室の現況認識と運営対策は



荒井 武 議員

△質問▽

新聞によると、長引いた不況と財政難下の美術館問題は、市立美術館の相次ぐ閉鎖という形で顕在化した。運営もボランティアガイドなど市民の支援に依存している要素は少なくない。自治体と市民が果たす役割は大きいとあった。土浦駅北地区再開発事業に伴う美術品展示室は、美術館でなく美術品展示室としたことは大変意義あることと思うが、現状認識と今後の運営対策について伺う。

△教育次長▽

土浦駅北地区再開発事業に伴う公共施設に関しては、第六次土浦市総合計画の中で市民の文化活動の基盤である文化施設をより高い文化性を持ち得るよう整備するとともに、市民の文化活動に対して場の提供や機会の充実に努めると位置付けている。市所

有の美術品収蔵施設の現状は、二千二百四十六点を博物館収蔵庫に、旧新治村所蔵の二十三点は、しもだて美術館に収蔵依頼している。展示施設は亀城プラザ・まちかど蔵などであるがいずれも利用者のご要望に応えるには不十分であり、美術品収蔵庫がないため保管に支障を来している。

計画の展示室は常設展示場とするとともに、貸しギャラリーとして市民の皆様も利用でき、また、収蔵庫は一括保管管理が行えるようにするなど、より良い施設となるよう皆様のご意見ご要望を反映させながら計画を進めてまいりたい。

「中心市街地活性化案」の作成について



寺内 充 議員

△質問▽

まちづくり三法の改正に伴い、中心市街地の整備と活性化を一体で進め、新たな中心

市街地活性化案を一刻も早く作成し認定してほしいものと考えている。認可を受けなければ国からの支援措置は受けられない。これまでの作業状況について、また、作業に先立ち、現在の中心市街地活性化基本計画はどのように総括されたのか伺う。

△産業部長▽

本市中心市街地活性化基本計画は、人の集う賑わいのある拠点づくりを基本理念に平成十二年に策定した。内容については、市街地再開発事業や、歴史の小径などの市街地整備改善事業、空き店舗活用事業や賑わい創出の各種イベントなどの商業活性化事業、コミュニティバスモデル運行事業などの一体的推進事業のハード、ソフト面から八十の事業を位置付けた。進捗状況は、商業活性化事業としてのソフト事業は四十四項目であり、実施済は二十九項目である。現在実施している事業をよく検証し、関係機関とも協議の上、新たな提案を作つてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

(都市計画道路拡幅整備とまちづくりについて)

土浦市の悪臭対策について



海老原一郎 議員

△質問▽

新聞報道によると、土浦市北部地区において、プロパンガス臭の悪臭問題が発生した。今回の事故が発生した工場が立地する神立工業団地に隣接する、土浦市北部地区及び木田余真鍋地区の住民より、以前から「悪臭が頻繁に発生した」という苦情が寄せられている。北部地区の悪臭について、どのように把握しているか、また、他の地区においても悪臭の苦情が出ているかどうか。

△市民生活部長▽

十一月十日夕刻の悪臭については、工業団地内のセメント会社リサイクルセンターにおいてテスト搬入した、フルフリルメルカプタンを含有するドラム缶一本をピットへ投入した際に発生したもので、原因物質のフルフリルメルカプタンは、プロパンガスに勾

議会を傍聴してみませんか



詳しくは、議会事務局へ

市ホームページ(市議会ページ)
http://www.city.tsuchiura.ibaraki.jp/gikai/index.htm

いをつける香料の一種であり、人体に対する有害性はないものの、市民の方やガス会社にも大変御心配をおかけした。この事案については、消防・ガス会社・プロパン業者の協力の下、早期に原因究明することができ、原因者に対し再発防止などを含む幅広い対策を講じる旨の報告を受けている。北部地区は他の地区より多くの悪臭苦情が寄せられており、苦情があつた際にはその都度対応をしているが、なかなか原因究明に至らないのが実情です。北部以外の地域での工場等を原因とする悪臭苦情はほとんど寄せられないが、住民の皆様や関係機関などからの通報に対しては即刻対応してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

二 土浦市の小中一貫教育に対する取組みについて